

水閘門等操作員講習会を開催しました



講習会

12月1日、白鷹町東根地区公民館において、長井出張所管内の操作員さんを対象に水閘門等操作員講習会を開催しました。この講習会は、山形河川国道事務所が毎年開催しているもので、操作にあたっての留意事項や樋門・樋管設備について学んでいただいています。建設事業関係功労者および新規操作員の方々の紹介、意見交換なども行い、地域の操作員さんとの交流の場ともなっています。操作員さんからは「操作台に上屋が欲しい」などの要望が出されました。



定期点検

水閘門等操作員は樋門・樋管の点検・操作を担当されている方々です。年10回の定期点検、災害時の臨時点検のほか、河川の増水時には、昼夜問わず水位が下がるまで樋門・樋管に待機し、悪天候の中、ゲートの操作や30分ごとの水位測定を行います。大きな洪水の際には、数日にわたり待機し続けることもあります。長井出張所管内では、88名の操作員さんが地域の安全のため尽力されております。



樋門・樋管

河川の堤防に設置されている施設です。平常時はゲートを開き、住宅側の雨水などを河川へ排水していますが、大雨で河川の水位が上がった時はゲートを閉め、住宅側へ水が逆流するのを防ぎます。